

市政だより

9月 (No.167)

編集・発行/長岡市広報課 (電話代表3-1122) 昭和43年9月12日

数字で見る長岡市(4)

長岡市工業統計調査結果 (各年12月31日現在)

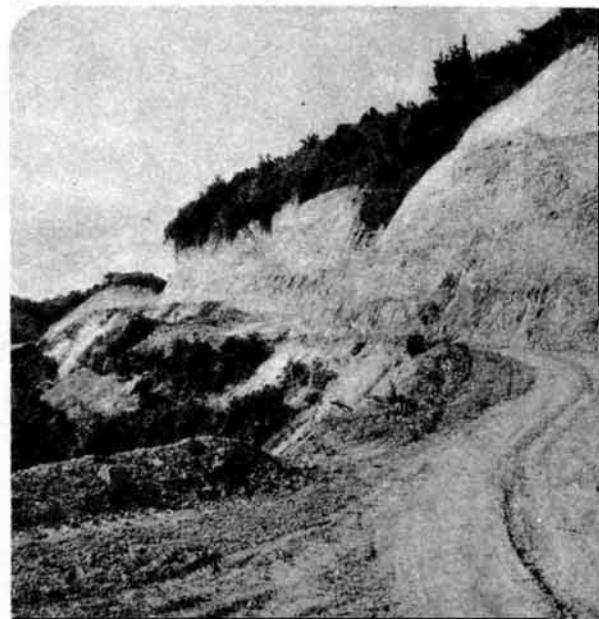
工場数	41年	42年	43年	重化学工業	41年	42年	43年
1,228	1,172	823	405	385	18,369	9,908	8,461
18,369	18,825	10,170	8,655	41,708	18,794	22,914	
42年	42年	42年	42年	42年	42年	42年	42年
49,456	20,426	29,030					

建設への槌音も高く

いま、市では豊かな暮らしやすいまちづくりのために、道路整備はいうにおよばず、学校建築、住宅改良、水源確保、環境整備など、あらゆる面で建設への力強い歩みを続けています。

もちろん、これらの建設工事は思いつきやその場限りの計画ではなく、限りなく発展する長岡市の将来への礎石にほかなりません。市民のみならずととも、さらに力を合わせて努力を続けてまいります。

今日は、数え切れないほどの建設工事のうちから、次の三つをご紹介したいと思います。



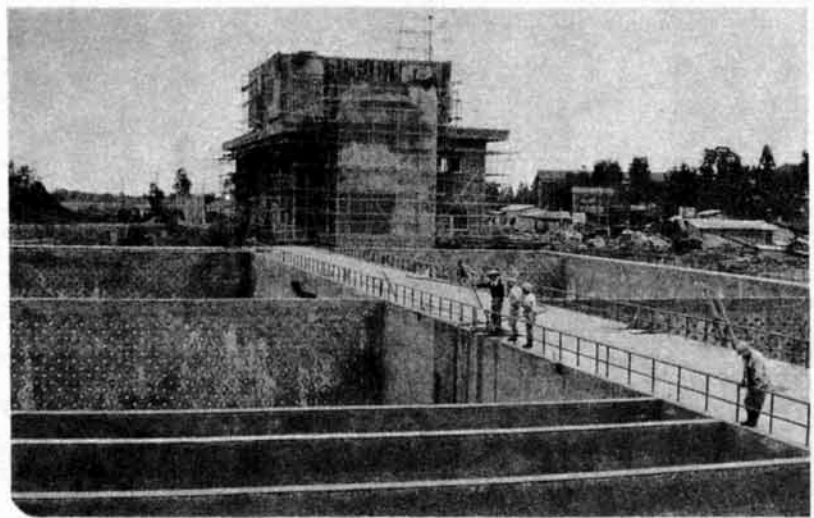
林道南彦ばん線開通

昭和三十七年から工事をはじめた林道南彦線は、去る八月十五日見事に開通いたしました。この林道は、鷲之巣町から竹之高地に至る延長五・五キロ、幅員四メートルの道路で、いままでは自転車さえも入らない山道でした。今後は物資交流の路線として、また、快適なハイキングコースとして、広く利用されることでしょう。

なお、市では引き続き林道赤道線、中洞線、中山線などの開発工事も進めております。

進む新浄水場づくり

水不足解消の根本対策として、昨年九月に着工した新浄水場(妙見町地内)は、いま、急ピッチで工事が進んでおり、貯水槽などはすでに完成に近づいています。年々ふえる給水人口に対して、柿、稲葉、栢吉を含めた現在の中島浄水場ではその需要に追いつくことができません。なにかとみなさんにご迷惑をおかけしておりますがこの新浄水場からは、さしあたり三〇、〇〇〇トンの水をみなさんの台所に送ることができそうです。完成は昭和四十五年度、総事業費は



県立児童会館が着工

市内の子どものために、去る八月のはじめに着工いたしました。この施設は、鉄筋三階建てで、本館棟が約一、六〇〇平方メートル、プール棟が約八〇〇平方メートルという立派なもの、なかには科学実験室、プラネタリウム、理科実験室、クラブ活動室、子ども集会所、温水プールなどの設備が整えられることになっていきます。来春三月には、子どもたちの大きな夢と希望をかえてくれることとしましょう。



人口 男 77,784 女 80,984

計 158,768 世帯数 40,441 (9月1日現在)

行事メモ

9月13日	敬老の日・家庭の日
9月15日	主権の施設見学
9月16日	交通安全街頭指導日
9月17日	行政苦情相談(宮内公民館)
9月18日	市民いっせいで清掃デー
9月19日	行政苦情相談(中央公民館)
9月20日	主権の施設見学

市民のみならずが見聞きしていただくように、事故によるけが人や急病者の発生などで、消防署の救急車を毎日何回となくサイレンをならして走っています。関係の職員は取巻く病院をさがしあぐねて困惑することもしばしばあります。



たえまなく鳴るサイレン 救急活動にご協力を



もともと救急車では、いろいろな災害、あるいは屋外とか大ぜいの人が出入りするところで起きた事故、または、急病などで、早く医師の手当てを受けなければ生命にかかるといってしまうような場合であって、早く病院に運ぶに適切な手段がない人が、や病人に限らず、指先をちぎるとか、むいたとかおなかを少し痛むので、病院に行きたいが、タクシーも医師も来てくれないので、救急車を呼ぶ。このように、救急車を呼ぶ。本日に急を要する傷病者が少しでも早く医師の手当てを受けられるよう、みなさんのご協力をお願いいたします。

もみ乾燥機の 火災にも注意を

例年収穫期には決まってもみ乾燥機からの火災が続出します。ことしですら県内各所で数件発生しておりますので、もみ乾燥機を使用するときは、次のことをよく守り、火災の起こさないよう、に注意してください。

○もみ乾燥機の周辺は常に整理しておきましょう。

○正しい無理のない操作方法で使いましょう。

○万一の場合に備えて消火器や砂などを用意しておきましょう。

※なお、火災になったときはすぐ一一九番に通報してください。

住宅統計調査にご協力を

十月一日現在で全国いっせいに住宅統計調査が行われます。本市では全世帯の約四分の一が対象となり、九月下旬に調査員がお伺いします。ご協力をお願いいたします。

はかりの定期検査

計量器の定期検査が次の日程で行われます。

この定期検査を受けなかった場合は、法律によって罰せられることがありますので、計量器を使用する営業しているお店や事業所などは、必ず検査を受けてください。

検査実施日と場所(受け付けは午前九時〜午後四時)

上組小: 9月25日、宮内小: 26日
下組小: 27日、厚生会館: 30日

10月1日、県計量検定所長岡支所

犬の子防注射(十月中)	時間	場所
11日	11:12	大島理美容学校前
11日	11:12	栖吉公民館
11日	11:15	市役所
12日	11:12	富貴公民館
12日	11:12	高野根神社
12日	11:12	関原出張所
12日	11:12	黒糸連絡所
12日	11:12	深才連絡所
12日	11:12	下川西連絡所
12日	11:12	福戸連絡所
12日	11:12	王寺川連絡所
12日	11:12	神田小学校前
12日	11:12	山通り公民館
12日	11:12	山本連絡所
12日	11:12	宮本連絡所
12日	11:12	大積連絡所
12日	11:12	新町連絡所
12日	11:12	厚生会館横
12日	11:12	太田出張所

今月の納税

固定資産税 第3期分

納期限 9月30日

納税で築く住みよい長岡市

中央公民館から

次の催しを行いますので、あらかじめ中央公民館(電話二〇四三七番)にお申し込みのうえお出かけください。

日時: (歴史講座) 毎週火曜日 (教養講座) 毎週金曜日、時間はいずれも午後六時半から八時半

会場: 長岡女子高校(城内町三) 内容: ○近世百年の歩み○現代人の知識

長岡中央家庭教育学校 日時: 毎週金曜日、午前九時半から十一時半

会場: 互助文庫会議室 内容: ○子ども個性を育てるには ○子どもの根性を育てるには

犬の子防注射(十月中)

日時: 九月二十九日午前十時から 内容: 「嫌いなりのはなし」 自動車庫の巡回(九月中)

深才: 大島: 17日、山通・栖吉: 18日、宮内: 19日、十日町・六日市: 20日、太田: 21日、関原・大積: 24日、日越・玉寺川・福戸: 25日、上川西・下川西: 26日、新組・黒糸・富貴: 27日、山本: 28日

国や県が直接相談に応じる

官公庁合同行政相談

10月16日午前10時〜午後4時

大和6階食堂別室

国や県への苦情や意見(登記・人権問題・国税・国有財産問題・道路・電報電話・郵便・年金・国鉄・公営・教育・社会福祉など)を行政に反映させるために設けられるもので、この日は国や県の関係職員が直接相談に応じ解決にあたりますのでご利用ください。

楽しいお買い物を

みなさんが、よい品を買いたい、よいサービスにしたい、商品や情報が開かれない、という苦情や意見が、この「楽しいお買い物」を通じて、行政に反映されるようになります。この「楽しいお買い物」を通じて、行政に反映されるようになります。この「楽しいお買い物」を通じて、行政に反映されるようになります。

会場: 城内町三丁目 相談員: 消費生活大北美代子(住吉一丁目) 菊江(日赤町三丁目)

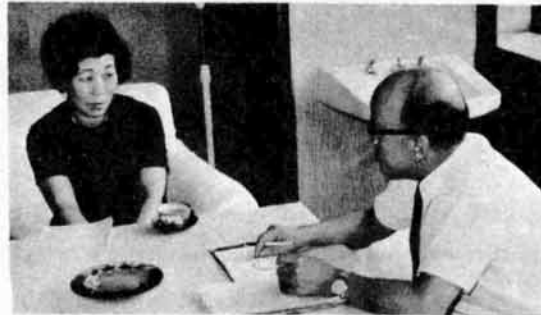
きれいな環境・住みよくなる

市政モニターのごみ・し尿診断

黒金町鉄アパートにお住いのある奥さんは、西瓜の皮や水けのあるごみは必ず二日間くらいはしてからお出しになってます。ご本人はただ、持ち運びに汁が出たり袋が破れたりすることがないから……とおっしゃっています。今月の市政モニター診断は、ごみとし尿の問題です。担当の厚生部長に市政モニターの大北さんいろいろな聞いていただきました。

年々増えるごみの量

「ごみの量は増えるばかりだとうかがいましたが……」
 厚生部長 生活水準の向上ともない、年々ごみの量は増える一方です。去る昭和三十七年、一日五〇トン処理できる焼却固定炉を建設した当時は年間一四、〇〇〇トンのごみ処理量でしたが、五年後



の昨年一年間では三二、五〇〇トン余と激増いたしました。このごみを仮りにドラム缶にギッシリ積み込んで横にならべますと長岡駅から東京を越えて横浜駅に達することとなります。
 「ごみ処理にはどのくらいのお金が使われているのでしょうか。」
 厚生部長 現在二〇台のごみ収集車と七十二名の運転手、衛生員が作業にあたっております。そしてこれに使われた経費は昨年度一年間で六、四〇〇万円に達し、収集区域の一世帯あたりでは二、一三〇円になります。
 なお、今年度は一億円を超える

定場所収集のすすめ

「市では定場所収集方式を呼びかけておられますが……」
 厚生部長 一定の場所をきめていただき、よく梱包されたごみやきちんとふたをしたポリバケツなどをそこに置いていただく方法で現在、悠久山通りなど一部の町内で実施されておりますが、収集

時間に制約されないで共働き家庭はもちろん、外出や来客などにも心配が全然いらぬとみなさんからたいへん好評を得ております。また、ごみを集める私たちが能率的に仕事を進められて一石二鳥の方法です。
 たた、場所をどこにするかという



(年六回の危険物収集)

春まで耐える便そつを!

それではし尿のことについておうかがいします。
 厚生部長 現在委託業者十社十八台のパキウムカーで全市を地域別にして責任回収を実施しています。
 夏期はご注文をいただければ、二日でも取り出すようにしておりますが、冬期間の場合交通事情が円滑にはなれずご注文をいただいた後も十分活動ができません。残念ですが、それで①冬期間の出入りない地域の便所については拡張改造をお願いいたします。②汲取り口の上の雪を降り放しにしないようご協力をお願いいたします。③ごみ収集力をお願いいたします。
 と、せめてフルドレーザーで除雪できる頃まで耐えるような便そつがほしいと思います。
 「どのくらいの大きさに改良したらよいでしょうか。」
 厚生部長 三〇リットルあれば六人家族で三ヶ月は耐えると思えます。現在一カ月におよそ三十

ごみの減量運動にも

戸くらしいがどのように改良していきましょうか。
 厚生部長 各家庭から汲取られたし尿はすべて市のし尿処理場に運び込まれます。ここではし尿を液分と固形分に分けて液分は真水にされ信濃川へ、固形分は埋立まします。昨年度は五四、〇〇〇キログラムのごみを処理いたしました。これを二の時のと同じようにドラム缶で長岡駅からならべますと大宮まで達します。これに要した経費は二、四四〇万円です。
 なお、近年はし尿を肥料とすることがなくなり現在の施設だけでは処理に足らなくなりましたのでことしと来年の二カ年事業で一日五〇キログラム処理できる新しい施設を増設することにしてまいります。
 「どうもありがとうございます。私たちが自分ですることとは違いますが協力しなければ……」
 紙面の都合で、発言、答弁を要約させていただきました。



(お山の家で)

豊かな老後を 敬老の日

ことし、長岡市で「敬老の日」を迎えるおとしより(六十五才以上)は昨年より三百人ほど多い約九千八百人、最高齢者は小林キヨさん(表町三)で、ちようとう百才になられました。
 市では、これらのおとしよりをお招きして、毎年各地域ごとに敬老会を開催していますが、ことしも九月十五日午後一時から、旧市内、栢吉、富貴電の各地域にお住

九月十五日は「敬老の日」です。なかいあいだ社会のために尽していただいたおとしよりから、これからも健康でやすらかな生活を送っていただくことにも、さらにその深い知識と経験を社会に役立たせていただくようお願いいたします

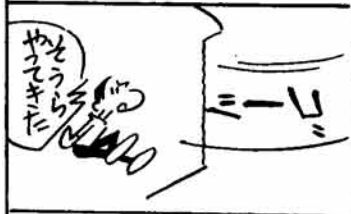
くいこいの場、老人福祉センター「お山の家」は、毎日約七十人の方々がご利用いただいております。月曜日を除く毎日午前九時から午後四時まで開館しております。どうぞご利用ください。
 なお、料金は市内のおとしより(六十才以上)は五十円、その他は百円(団体割引あり)で、いろいろな娯楽設備浴室なども完備しております。

長寿者名簿

氏名	住所	年令	氏名	住所	年令
小林 キヨ	表町3	100	恩田 庄松	七軒町	94
丸山 ソヤ	桂町	95	渡辺 トヤ	黒津町	94
新保 リテ	山田町2	95	小林 良平	東神田1	93
長部 ツタ	塚町	95	寒川 ヨキ	呉服町2	93
島宗 ミセ	関原町3	95	高野 トセ	雁島町	93

長岡六局が誕生

これによって、いままでの関原局電話番号は全部変更になります。関原地区へ電話をするときは、新しい電話番号をよくたしかめてからおかけください。
 なお、関原地区のほか、日越の



敬老の日
 としよりを敬い、たいせつにしましょう。
 【例】
 暮らしの設計。お金の使い方。としよりの話を聞く。袖割りの手伝い。風水害に備える。

川ぎの話題

完全なごみの梱包

中沢町悠久山通り町内会(会長 池原さん)は、模範的なごみの定場所収集を行なっており、収集員



から感謝されています。この町内会が定場所収集にふみ切った理由は、収集車が来る時間にお客がいたりして、あらかじめ決られた場所にごみを出しておけば、こので便利だからとのこと。各家庭から出されるごみは、いすれもビニール袋やゲンボールに入れた完全梱包。ごみを出す時間も収集車が来る二時間前なので、野犬に食い荒されることもなく、収集場所はいつもきれいな状態です。

楽しい キャンプファイヤー 神明町子ども会
 さる八月二十五日の夜、神明町子ども会では、信濃川河原で親子のついでに親子キャンプファイヤーを行いました。
 この日参加した会員は、小中学生と父兄のみを合わせて約百三十人、ジャガイモのいっばい入った豚汁をつくらたりキャンプファイヤーをしたり……。
 この日のために練習をかきわてきた自慢の歌やゲームも飛び出して、休みも終わりに近づいた夏の一夜を河原の風に涼みながらなごやかに過ごしました。

